

- 問1 日本の産業構造において、自然界から採取した資源を加工して製品を作る産業は「第二次産業」に分類されます。この第二次産業に含まれる業種の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 製造業・建設業                      2. 運輸業・通信業                      3. 農業・林業                      4. 金融業・保険業
- 
- 問2 日本の都道府県別の農業産出額の内訳を比較したとき、各地域の自然条件に応じた産業構造の違いが見られます。例えば、ある県では水資源の豊かさを背景に農業産出額の約7割を米が占め、別の県ではシラス台地の広がる土地条件を活かして畜産が全体の6割以上を占めています。後者の「畜産が全体の6割以上を占める」という特徴を持つ都道府県として正しいものを選びなさい。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 岡山県                      2. 鹿児島県                      3. 千葉県                      4. 富山県
- 
- 問3 日本のエネルギー資源に関する1960年代後半から1980年代までの歴史的背景について述べたものとして、正しい記述はどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
1. 石油代替政策の成功により、1980年代には原油の輸入先が北米や欧州に完全に移行し、中東からの輸入は途絶えた。
2. 1970年代の石油危機を機に原油価格が下落したため、日本は中東依存度をさらに高める方針を決定し、石油輸入量を倍増させた。
3. 高度経済成長期を通じて原油の輸入量は増え続けたが、1970年代の石油危機を機に石油代替政策がとられ、1980年代末にはAPECが発足した。
4. 1980年代にAPECが発足した主な目的は、日本国内の石炭産業を保護し、原油の輸入価格を日本独自の基準で固定することであった。
- 
- 問4 愛媛県松山市、栃木県宇都宮市、石川県金沢市の3都市の産業統計を比較した際、宇都宮市の製造品出荷額等が約2兆円弱であるのに対し、松山市は約4000億円、金沢市は約4000億円強となっています。この3都市の中で、人口一人あたりの製造品出荷額等が最も少ない都市はどこですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 松山市                      2. 高松市                      3. 金沢市                      4. 宇都宮市
- 
- 問5 2010年代の日本の輸入構造において、中国からの電気機器の輸入額が、かつて最大だったアメリカ合衆国を大きく上回るようになった背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国が日本への製品輸出を制限し、中国がその代替供給元として選ばれたため。
2. 日本国内の電気機器メーカーがすべて閉鎖し、日本国内での生産が完全に行われなくなったため。
3. 日本企業が生産コストを抑えるために中国に工場を建設し、現地で生産した製品を輸入するようになったため。
4. 中国が自由貿易協定によって日本からの電気機器の輸入を全面的に禁止したため。
- 
- 問6 日本の国内貨物輸送の分担率（2020年度）は、自動車が55.3%と過半数を占める一方で、船舶は39.9%、鉄道は4.8%にとどまっています。地球温暖化対策の一環として、この輸送分担の構成を変化させる「モーダルシフト」が推進される背景として、最も適切な理由を説明したものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 日本の地形は山地が多く道路網の維持が困難であるため、古くから発達している鉄道網や水運を主役に据え直す必要があるため
2. 鉄道や船舶は、自動車に比べて輸送量あたりの二酸化炭素排出量が圧倒的に少なく、環境への負荷を軽減できるため
3. 鉄道や船舶による輸送は、自動車による輸送に比べて人件費や燃料費が高くなるが、二酸化炭素を一切排出しないため
4. 鉄道や船舶は、自動車に比べて一度に運べる荷物の量が限られているが、目的地まで直接届けることが可能で利便性が高いため
- 
- 問7 中国と日本の工業立地を比較した際、中国の製鉄所が内陸部の各地に点在している主な要因として、日本の状況と対比して説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 内陸部の豊富な河川水を主な動力源として利用するために、山間部を中心とした立地が選択されたから。
2. 日本の製鉄所との競争を避けるため、あえて沿岸部から離れた未開発の場所に工業地帯を形成したから。
3. 海外からの原料輸入を政府が制限しており、国内の資源だけで自給自足する体制を維持する必要があるから。
4. 石炭や鉄鉱石といった原料の産地が国内の内陸部に豊富に存在し、その近くで生産を行う方が効率的であるから。
- 
- 問8 愛知県の県庁所在地である名古屋市を中心に広がり、日本の工業地帯・地域の中で出荷額が最も多い工業地帯の名称を教えてください。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯                      2. 中京工業地帯                      3. 瀬戸内工業地域                      4. 阪神工業地帯
- 
- 問9 埼玉県、愛知県、大阪府、大分県の4県における2015年の昼夜間人口比率について、それぞれ「87.4」「99.9」「101.4」「104.6」という統計データがあります。このうち、東京都のベッドタウンとしての性質が強く、昼間は県外の職場や学校へ向かう人が多いために、夜間人口に対して昼間人口が大幅に少なくなっている埼玉県の数値として適切なものはどれかを選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 104.6                      2. 87.4                      3. 101.4                      4. 99.9
- 
- 問10 現代の日本において、福岡市のような大都市圏では第3次産業に従事する人の割合が非常に高くなっています。都市部において、農村部と比較して第3次産業が発達する理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 平坦で広い土地を確保しやすいため、大規模な機械化農業を行う環境が整っているため
2. 人口が密集しており、多様な生活を支える小売業やサービス業への需要が非常に大きいため
3. 自然環境を活かした観光資源が豊富であり、キャンプ場や林業の経営が主な収益源だから
4. 原料の輸入に便利な港湾施設が整備されており、鉄鋼や化学製品などの製造が中心だから
- 
- 問11 島根県、愛知県、福岡県の3県における産業別就業者人口の割合を比較した記述として、正しいものはどれですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 福岡県は、北九州工業地帯を擁しているため、自動車産業が集積する愛知県よりも第二次産業就業者の割合が高い。
2. 愛知県は、サービス業が主体の福岡県と比較して、農林水産業に従事する第一次産業就業者人口の割合が全国で最も高い。
3. 島根県は、都市化の進展により第一次産業の割合が極めて低く、愛知県よりも第三次産業就業者人口の割合が高い。
4. 島根県は、製造業が盛んな愛知県や商業が発達した福岡県と比較して、第一次産業に従事する人の割合が相対的に高い。
- 
- 問12 福岡市から鹿児島方面へ移動する際、所要時間が4時間半以上かかる一方で、運賃が5,000円強と他の手段に比べて最も安く抑えられる交通手段はどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 新幹線                      2. 高速バス                      3. 飛行機                      4. フェリー